学校生活において配慮すべきこと 一宮市立朝日東小学校

登校前 口健康チェック(家庭で体温・体調をチェックし、Google フォームの「健康チェック」を送信 Google フォームが使用できない場合は、健康チェックカードの記入)の徹底 口集合場所・通学団(大人数で密集しない、近距離で会話・発声を控える、極力1列で並ぶ)

| | | | | ┛ ★常時換気が難しい場合 |
|---|--|-------------------|-------------------|---|
| 登校 | 口手洗い 口水分補給 口自席につく(席配置の工夫)口窓を開ける | | | → こまめに(30分に1 回以上)数分程度、窓を は 全開 |
| 朝読書・ 学びタイム 朝の会 | 口健康観察 口健康チェックカード回収(一部) 口検温を忘れた子の検温 〈全校で実施〉 口教員が確認しながら手洗い (水流し放し・学級毎などローテーション計画) | 気 気 口 | マスク着用 | 全ての場面での共通事項 ☆次の3つの条件が重な る場を徹底的に避ける |
| 1 限 | □体育の授業は <mark>可能な限り屋外で実施する</mark> •屋内で実施する必要がある場合は、特に呼気が 激しくなるような運動は避ける | 郎下側と窓 | 近距離 | ①密閉空間であり、 換気が悪い ②手の届く距離に多 |
| 2限 | ・運動を行っていない場合は、可能な限りマスクを着用する ・なるべく個人で行う活動とし、特定の少人数(2~3人程度)での活動を実施する際は十分な距離を空ける ・ボール・用具・器具等の使用前後の手洗い口次のような学習活動は一時停止 ・長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等及び近距離で一斉に大きな声で話す活動・近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏 ・近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動・近距離で活動する調理実習 | 窓側を対角に開ける) エアコン使用 | で会話をしない 口集まらない 口咳 | くの人がいる ③近距離での会話や発声がある 体調不良者の対応 (登校後も)体調の観察に努める。体調の不調に気づいた場合には、すみやかに養護教諭等と連携し、迅速な対応をとる ☆体調不良者との接触機会を減らす |
| 業間放課 | □窓を開けて換気をし、扇風機を回す □手洗い □手の届く距離で会話・発声を控える □水分補給 | 円時も換気 | 咳エチケット | □職員が保健室へ引率 □基本的に保健室で対応 □体調不良者とけが人を |
| 3限•4限 | <全校で実施> □教員が確認しながら手洗い | □ | | エリア分けする (パーテーション、別室など) |
| 給食 | (水流し放し・学級毎などローテーション計画)□手の消毒 □全員前向き □配膳台消毒□給食当番の健康チェック(担任)□食事後の歓談時には必ずマスク着用□大声での会話を控える | 扇風機を活用する | 手洗い 口 | □職員室との連絡手段の 確保(インターフォン) □ベッドは極力使用しな い □発熱、体調不良者は帰 宅させる |
| 掃除 | □換気 □マスク着用 □掃除後に石けんで手洗い | る | 目鼻口をさわらない | □緊急対応はできる限り 教頭が行う |
| 昼放課 | 口近距離で会話・発声を控える 口手洗い 口手の消毒 | | こわらな | <その他> □職員健康チェック |
| 5限•6限 | 口午後の健康観察 | | | 口基礎疾患のある子・教 |
| 下校 | 口通学団 (大人数で密集しない、近距離での会話・発声を控える、 極力1列で並ぶ) | | | 員の把握・対応の確認 口外部の人をできる限り 校内に入れない(来校 者の検温 連絡先の記 |
| 下校後 | 口必要に応じて保健室や主に子どもが触れる場所の消毒 | | | 入) |
| 帰宅後 □すぐに手洗い・うがい □健康観察 □不要な外出は避ける <mark>(特に 20 時以降)</mark> | | | | |